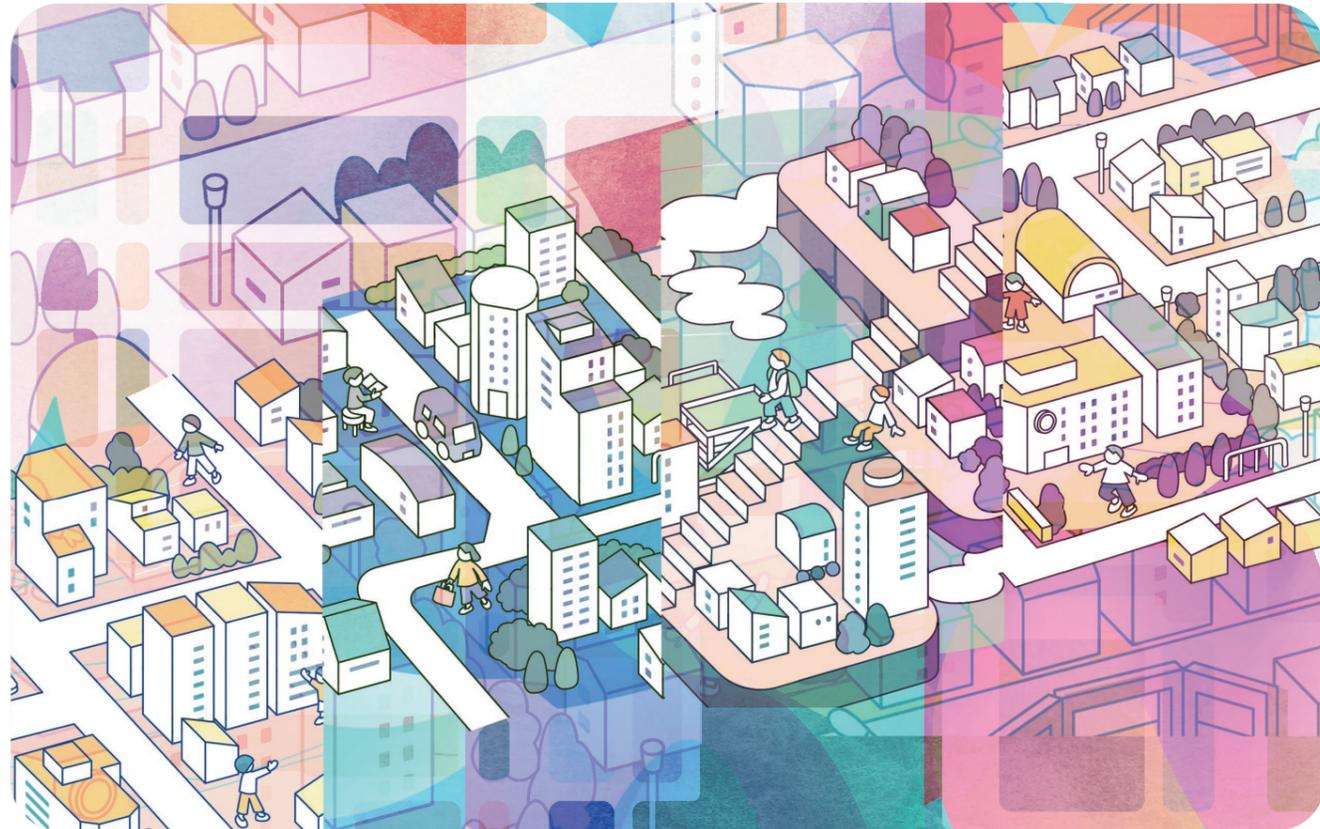


デザイン科学研究所

Creative Media Research Center

Design Science

立命館大学 デザイン科学研究所



「人々が“豊かな生活”を実感することのできる時空間の創造」にむけた「デザイン科学研究」及び「橋渡し促進エージェント」の中核拠点

デザイン科学研究所は、21世紀の大学の「ありえる姿」「あるべき姿」「ありたい姿」を構想し、産学官市民の連携による「総合知」の発揮を通じて、その最適な実現を図る「デザイン科学研究」の世界的な中核的拠点の形成を目指しています。持続可能な社会の構築に寄与すべく、研究領域を融合して(学融合)大学で生みだされる専門知を内外の知と結びつけ、「未来創造のエンジン」として「実践知の蓄積とその利活用」による「社会実装」及び「教育への還元」に重点を置きます。

「あるものの探究」としての認識科学は「事実→仮説→検証→理論」の研究方法的な雛型が確立されており、認識科学のよりどころは唯一絶対の存在である「自然」ゆえに、解は一つで

す。一方で、我々が拠り所としている「デザイン科学」は、社会的課題に根差した「挑戦するに値する価値」を提示し、共感を獲得しなければなりません。価値を導入する以上「あるべきものの探究」に対する解は一意には決まりません。「あるべきものの探究」は必ずと特定の主体の価値観を纏うのです。したがって、デザイン科学の研究方法は「価値命題→最適化→実現→検証」のループを回して「全体最適」に近づける「知力」の営みとなります。それは個別利害の調整(政治)プロセスであり、ガバナンス・メカニズムやビジネス・エコシステムから発現する「治力」に大きな影響を受けます。希望に満ちた未来の「ありえる姿」「あるべき姿」「ありたい姿」の探究には、コレクティブ・

インパクトの発想を土台とする産学官市民による戦略的共創の枠組み構築が重要です。

社会の審美的・倫理的に「あるべき姿」と技術的に「ありえる姿」に不足しているのは、社会を構成するマルチステークホルダー(人々/企業/行政等)の多様性を包摂した意志、つまり「ありたい姿」です。これに対して、本研究所のレガシーである「グローバルMOT研究センター」及び「デザイン科学研究センター」では、設立以来、研究領域の“Beyond Borders”を

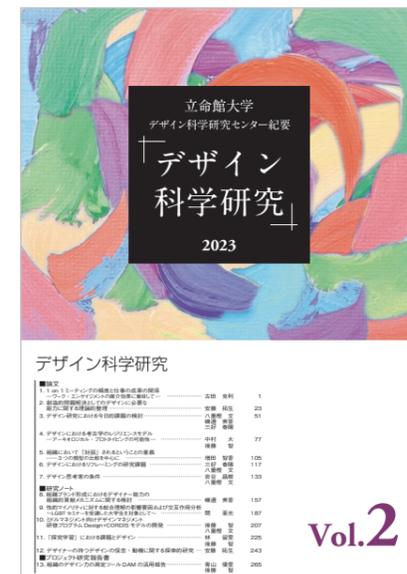
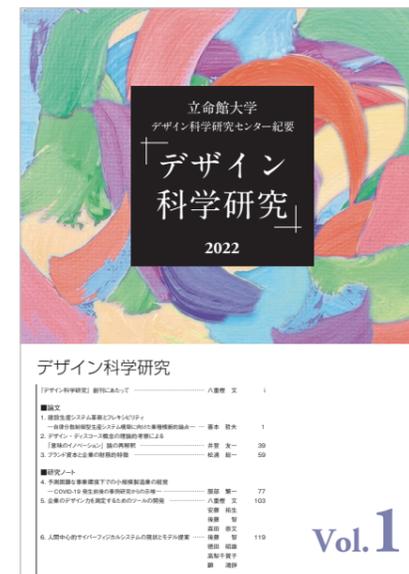
意識し、人文社会科学が持つ審美的かつ倫理的な視点から価値の探究を推し進めると同時に、人文社会学・自然科学を問わない領域越境型、産学官連携型の研究を展開してきました。さらに、学術誌「デザイン科学研究」を発行し、デザイン科学を実践する研究者の論文の発表の場としても機能してきました。これからも本研究所では、このようなデザイン科学(design science)研究の体系化を目指します。

田 デザイン科学の研究拠点

ものづくり企業のソリューション提案力の向上を目指し活動しているものづくりとソリューション研究会や、将来のモビリティをベースとした社会を探索するフューチャー・モビリティ研究会など、様々な研究会を実施しています。また、学術雑誌「デザイン科学研究」を発行し、デザイン科学の社会への発信を行なっています。

田 協働のプラットフォーム

企業と共同で、「人とモビリティの未来を拓く」研究や「メタバースをはじめとした新しい教育の形」の研究を実施しています。さらに、福井県若狭町、熊川宿の空き家問題への取り組みにおいて、若狭町や株式会社DEKITAと連携し、シェアオフィスプロジェクトを展開しています。また、北海道長沼町では、株式会社ミサワホーム総合研究所、長沼町、立命館慶祥高校と連携した地域活性化プロジェクトを推進し、OICの地元である茨木市とも様々なプロジェクトを実施しています。



田 社会教育・人材養成拠点

武蔵野美術大学・ソーシャルクリエイティブ研究所と連携し、学生や社会人向けのデザインマネジメント教育研修プログラムの開発・実施を行ないます。また、企業での実務経験や博士の学位を有した教員が、これらの背景を活かした新技術および新事業の創造や普及に関する教育を実施します。

主な研究テーマ

- リビングラボ (SoS/CPS) を実現するためのアジャイル・ガバナンスの研究
- デザイン科学の論文フォーマットのあり方の研究(学術誌「デザイン科学研究」)
- メタバースによるアントレプレナーシップ教育方法論の研究
- 未来のモビリティ社会のあり方の研究
- デザインリサーチの新たな方法論の研究
- ものづくり企業のソリューション提供力に関する研究
- デザイン科学アプローチによるリスティング方法論の研究
- 小中高一貫アントレプレナーシップ教育に関する研究
- コレクティブ・ワークスの方法論およびリサーチストラテジーの研究



研究所長: 後藤 智(経営学部 教授)
主な研究拠点: 大阪いばらきキャンパス
お問い合わせ: 立命館大学 研究部 OICリサーチオフィス デザイン科学研究所事務局 TEL: 072-665-2570 FAX: 072-665-2579
✉: oicr@st.ritsumeikai.ac.jp <https://www.ritsumeikai.ac.jp/research/rcds/>

